

令和元年度 連携・協力事業の実施状況について

教員研修専門部会

【プロジェクト名】特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業—②

1 プロジェクトの目的・概要

本事業②の前身は、平成 29 年度末に作成された「佐賀県公立学校の養護教諭、養護助教諭、養護主幹教諭としての資質の向上に関する指標」で、健康相談やコミュニケーションの資質・能力が挙げられたことに鑑み、養護教諭等の教育相談力向上を目的として平成 30 年度に立ち上げられた「養護教諭等教育相談力向上研修プログラム」である。本年度は、養護教諭等の範囲をさらに拡大し、広く教育相談に関わる教員を対象に、「気になる子供や保護者の理解と援助」プログラムとして実施した。

講義と事例検討会から構成され、実施時間は 1 回 2 時間である。毎回、教育場面でも広く援用されている家族療法のいくつかのキーワードについて理解を深める講義と、家族療法に依拠した事例検討を行った。検討する事例は、機能不全家族のケースや、精神疾患へのケアが必要な事例、発達障害への配慮が求められる事例など、保護者との連携も含め、幅広い。

今年度は 3 回の実施が予定され、いずれも場所は佐賀県教育センターである。

2 令和元年度の実施状況

予定している 3 回のうち、1 月 29 日現在、2 回の実施をしたところである。

第 1 回は、小学校教員 3 名、教育センタースタッフ 3 名と佐賀大学教員 1 名の計 7 名の参加であった。

講義では、家族療法における目標設定について解説した。また事例検討会では、学習能力や学校不適応、ゲーム乱用や家族関係への配慮が必要な多困難事例について、家族療法の立場から検討を行った。

第 2 回は、小学校教員 1 名、中学校教員 2 名、教育センタースタッフ 1 名と佐賀大学教員 1 名の計 5 名の参加であった。

講義では、家族療法における対話（ダイアログ）の捉え方について解説した。また事例検討会では、歴史、構造、コミュニケーションの面で機能不全に陥っている家族のケースについて、家族療法の立場から検討を行った。

		前半	後半
1	令和元年 6 月 1 日	目標設定のポイント	事例検討会
2	令和元年 10 月 26 日	ダイアログとは何か	事例検討会
3	未定	コンプリメント	事例検討会

課題については、時間配分と年間実施回数と日程設定である。時間配分の課題は、事例検討会の比重を大きくすることについてである。日程設定の課題は、年間行事やそれぞれの校種などの兼ね合いで、日程調整が難しいことについてである。

3 今後の予定

課題を踏まえ、事例検討会の時間を増やし、慎重に日程を調整し、次年度もよりよい研修になるよう実施していく予定である。